

美術館めぐり

入館
料込

※ 10月の美術館めぐりは、佐川美術館施設設備の不具合のため、一時休館となったため、訪問先を三井寺圓満院と三井寺金堂拝観に変更致しました。

講師 太田 好恵

実施日 第4木

改訂版

受講料 全3回 1,500円(税込)

マナベル倶楽部 ☎053-456-1229

10月 24日(木)

出発時間

7:30

行先: 滋賀県大津市

★西行き 浜松西 IC ルート

滋賀県立美術館「人間国宝志村ふくみ展」、
三井寺塔頭圓満院「大津絵美術館」
三井寺国宝金堂の仏像「紫式部と三井寺」



滋賀県立美術館の「人間国宝志村ふくみ展」絨織の人間国宝である染織家、志村ふくみの生誕100年を記念して、故郷滋賀では約10年ぶりとなる個展になります。大津絵とは、江戸時代初期から滋賀県大津市(大谷・追分辺り)で描き売られていた民俗絵画で、さまざまな画題を扱い、東海道を行き交う旅人たちの間の土産物・護符として知られていました。

センター7:30 - 浜松西IC = <高速> = 滋賀県立美術館 - 三井寺・圓満院 = <高速> = 浜松西IC - センター18:50頃
※美術館2館入館と三井寺拝観含む。

旅行代金 **¥13,500**

11月 28日(木)

出発時間

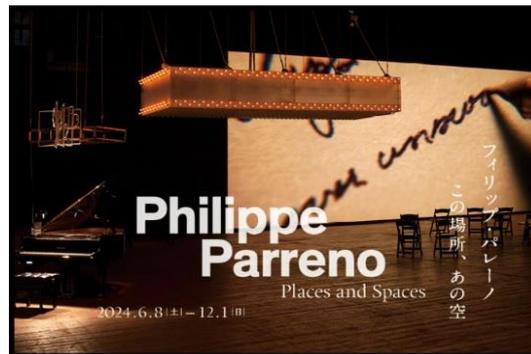
7:30

行先: 神奈川県箱根町

★東行き 浜松 IC ルート

開館55周年「彫刻の森美術館」とポーラ美術館
「フィリップ・パレーノ」

彫刻の森美術館は、日本で初めての野外美術館として1969年に開館し、今年で55年を迎えました。これまでに収集された作品は、2,000点余りにおよびます。現代のフランス美術を代表するフィリップ・パレーノは、今日最も注目されるアーティストの一人です。国内最大規模の個展となるポーラ美術館での展覧会では、作家の代表作である映像作品《マリリン》(2012年)をはじめ、1990年代の初期作品から初公開のインスタレーションまで、作家の幅広い実践を多面的にご紹介いたします。



センター7:30 - 浜松IC = <高速> =
彫刻の森美術館 - ポーラ美術館 = <高速> = 浜松IC - センター18:35頃
※美術館2館入館含む。

旅行代金 **¥14,000**

12月 19日(木)

※ 年末のため、1週間繰り上げます。

出発時間

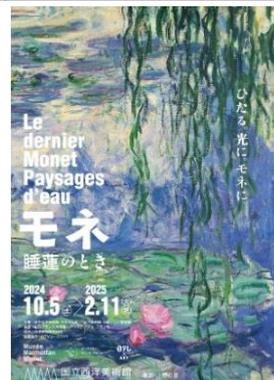
7:30

行先: 東京都台東区

★東行き 浜松 IC ルート

国立西洋美術館「モネ 睡蓮のとき」

本展の中心となるのは、この試行錯誤の過程で生み出された、大画面の〈睡蓮〉の数々です。このたび、パリのマルモッタン・モネ美術館より、日本初公開となる重要作を多数含むおよそ50点が来日。さらに日本各地に所蔵される作品も加え、モネ晩年の芸術の極致を紹介いたします。日本では過去最大規模の〈睡蓮〉が集う貴重な機会となります。また国立西洋美術館本館は、近代建築の巨匠、ル・コルビュジエが手掛けた日本で唯一の作品です。



センター7:30 - 浜松IC = <高速> =
国立西洋博物館 = <高速> = 浜松IC - センター19:30頃
※国立西洋美術館入館含む。

旅行代金 **¥15,500**